

西條正幸の エコライフのすすめ



「ホメオパシー」

日本では馴染みの薄かったオルタナティブ・メディスン(代替医療)が、最近のローハスブームで注目を浴びそう。その中でも200年ほど前にドイツ人医師ハーネマンによって伝えられたホリスティック医療「ホメオパシー」は、今では我が家の薬箱の仲間入りをしている。

現代医療が病気に対して逆の効果を持つ薬を使う「対処療法」ならば、人の魂と心と身体のバランスを整え、自然治癒力を高めることによって、病気への抵抗力を高める「類似の法則」による治療法がホメオパシー。病気と同じような症状を起こす自然界のさまざまな原材料を微量含む砂糖粒が「レメディ」で、約3,000種類がさまざまな形となって、ヨーロッパ諸国を中心に世界各地に広がって実践されている。

我が家の主役はコンビネーションレメディで、数種類の物質を複合して出来ているものだ。免疫力対策、風邪の回復促進、胃腸の疲労?緩和など症状に応じて、レメディの量や使用する間隔を調整する。

海外の薬局ではポピュラーなホメオパシーなのだが、日本での入手先は限られている。インターネットには日本語ホームページもあり、海外から取り寄せることができるので、興味のある方は試してみると良い。



素材自店が始まって8年半、この間に世の中の動きはずいぶん変わってきているけれど、根本的な問題はまだまだ解決されていないように思う。健康に負担のある化学物質VOCの使用量は、この間に建材・塗料・接着剤から激減している。にもかかわらず、シックハウスや化学物質過敏症を発症する人の数は一向に減らない。なぜなのだろうか?

自然素材を一言でたとえるならば、「生きている」ということではないだろうか。僕たちの家づくりの素材を考えたとき、家を構成するほとんどの素材は呼吸性のある材料で建てている。それは、天然原料で樹脂や接着剤を使用していない材料が基本だからなのだ。たとえば無垢の木で作った床フローリングは、植物油や蜜ろうを原料にした自然塗料で、呼吸を妨げられることなく木の質感を残し、生きた仕上がりになる。逆に塗膜性の

ウレタン樹脂を塗ってしまうと呼吸性を失い、木の肌触りや匂いも感じられないようになる。これは、本来生きていたものを殺してしまっていることになる。しかし人によっては呼吸を止めることで木の狂いがなくなるし、耐水性が増すことで汚れが付きにくくなり、結果として掃除が楽で良い、という人もいる。ものの価値観は人それぞれなのだ。以前、僕が建てた木の家に住む方からお便りをいただいたことがあり、寝ている時に、顔のあたりに松脂が落ちてきたというのだ。これは怒られるぞ、と思いきや、「感動しました。この家は生きているんですね!」。これには、こちらこそ感動した。

何はともあれ、僕たちはこれから「生きている、命がある」ということのすばらしさを感じられるような、自然素材の家をつくり続けていきたいと思っています。(完)



エコショップ 素材自店
札幌市北区百合が原4丁目8-1
(JR学園都市線「百合が原」駅 徒歩5分)
TEL 011-774-8599 FAX 011-774-8581
<営業時間>AM10:00~PM6:00
祝・日曜休み

オーガニック空間を実現するための厳選エコ素材ショップ。西條インテリアデザイン併設。素材の購入だけでも良いですが、新築、リフォーム相談の場合はご予約ください。

一級建築士事務所
自然素材で新築・リフォーム
エコロジー建築工房
有限会社 **西條インテリアデザイン**

http://www.saijo-d.com

本社/札幌市北区百合が原4丁目8の1(百合が原公園向かい)
TEL 011-774-8599 E-mail:eco@saijo-d.com
伊達支店/伊達市舟岡町 50-28
TEL 0142-22-0138 E-mail:bau@saijo-d.com

悪いことを考えてしまおう僕

素材自店が始まって8年半、この間に世の中の動きはずいぶん変わってきているけれど、根本的な問題はまだまだ解決されていないように思う。健康に負担のある化学物質VOCの使用量は、この間に建材・塗料・接着剤から激減している。にもかかわらず、シックハウスや化学物質過敏症を発症する人の数は一向に減らない。なぜなのだろうか?

ホルムアルデヒドの代替品アセトアルデヒドを放出するクロス糊。非ホルマリン系接着剤を使ったために、防虫・防カビ性が低下してしまっただけ。化学物質や臭いを封じ込める効果があるが、火災時には有害ガスを発生させる塗料。どれもがシックハウス対策品であるが、何らかの問題を抱えているのが事実だ。

自然素材を一言でたとえるならば、「生きている」ということではないだろうか。僕たちの家づくりの素材を考えたとき、家を構成するほとんどの素材は呼吸性のある材料で建てている。それは、天然原料で樹脂や接着剤を使用していない材料が基本だからなのだ。たとえば無垢の木で作った床フローリングは、植物油や蜜ろうを原料にした自然塗料で、呼吸を妨げられることなく木の質感を残し、生きた仕上がりになる。逆に塗膜性の

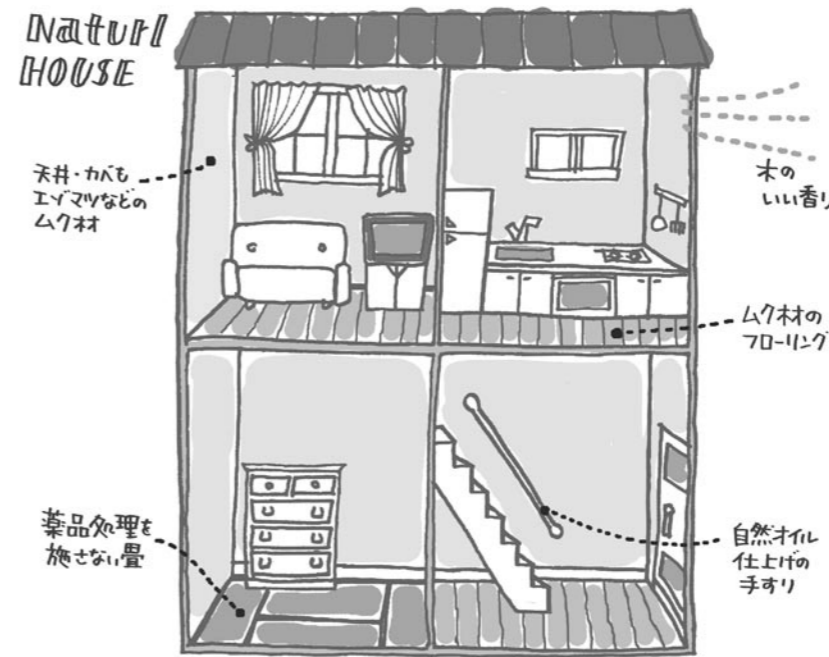
ウレタン樹脂を塗ってしまうと呼吸性を失い、木の肌触りや匂いも感じられないようになる。これは、本来生きていたものを殺してしまっていることになる。しかし人によっては呼吸を止めることで木の狂いがなくなるし、耐水性が増すことで汚れが付きにくくなり、結果として掃除が楽で良い、という人もいる。ものの価値観は人それぞれなのだ。以前、僕が建てた木の家に住む方からお便りをいただいたことがあり、寝ている時に、顔のあたりに松脂が落ちてきたというのだ。これは怒られるぞ、と思いきや、「感動しました。この家は生きているんですね!」。これには、こちらこそ感動した。

何はともあれ、僕たちはこれから「生きている、命がある」ということのすばらしさを感じられるような、自然素材の家をつくり続けていきたいと思っています。(完)

ecology

新の 素材自店 最終回

連載34回目。エコってる、エコりたい人のためのエコ素材自店もいよいよ今回で閉店です。自然素材やエコ住宅の情報がまだ少なかった時代、エンドユーザーがエコな家づくりをする時の手助けになればと始めたこの「素材自店」も、一応の役目を果たせたのではと思います。長い間ご愛読いただきありがとうございました。



自然素材は
生きている

最後にもう一度、 エコロジーって何?

「素材自店」の第1回は次の文章で始まった。
最近なんだか物騒で危ないよね。僕らのすぐ身近な話、地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊、海水汚染、ダイオキシンに環境ホルモンetc...
新聞やテレビのニュースでみんな知っていると思うけれどエネルギーや工業製品を作ったり、車や船を走らせるために燃料を燃やして空気を汚している。
作った工業製品の多くは、有害な化学物質で出来ていて、おまけにいらなくなったコイツらを燃やしたり埋めたりするとまた、有害ガスを大気中にまき散らしたり大地や川や海を汚している。
僕はそこで育った野菜や肉を食べて生きている。考えたらなんだか気分が悪くなったから家に帰って寝

ちやおうかなーなんて思ってもダメなんだよね、これが...。だって今の家がこの工業製品でほとんど出来ちゃっている。
汚染物質が含まれる家は室内を汚染して、僕らの体を痛めつけるばかりか、室内を換気したり、廃棄処分するときに出る汚れた空気が汚水は、地球を痛めつけてまた僕らの口や鼻や皮膚から体の中に入っていく。じゃあ僕らはどうすりゃいいのって事になるよね。これがエコロジーって事じゃあないかと僕は思っています。
地球環境や人に負担のかかるようなモノは出来るだけ作らないし使わない。これって無理なことかなー。家に限って言うとなんか安全なリサイクル建材、そして自然塗料による安全で健康的な家づくりが必要だと思えます。そこでこんなエコロジカルなすまいを造るためのエコロジー素材を紹介するコーナーを始めます。(1998年リブラン41号より)



西條正幸
Masayuki Saijo

エコロジー空間デザイナー。人と環境にやさしいエコロジー建築をテーマに店舗、住宅の新築、リフォームの設計・施工、エコロジー建材のコーディネートなどに応じている。一級建築士事務所(有)西條インテリアデザイン代表取締役。エコショップ「素材自店」店主。